

HOPEレポートXXII 「団塊世代 60歳以降の人生設計」

定年後の不安は「健康」と「経済」。 男性は「お金」、女性は「もの忘れ」と「容姿の衰え」への心配が顕著。 そしてお金は「資産運用(財テク)で増やしたい」。

60歳以降の楽しみは、「温泉旅行」「インターネット閲覧」「自然に触れる旅」。
理想の生活は、男女ともに積極的な「社会参加(仕事・社会貢献)」。

博報堂エルダービジネス推進室では、50歳以上のエルダー生活者について、常時さまざまな調査・研究を実施しております。このたび、全国の50～64歳のエルダー2036名を対象に調査した「第5回HOPEサーベイ」の中から団塊世代(56～58歳458名)に焦点を当て、目前に迫った「60歳以降の人生設計」について調査した結果をまとめましたので、ご報告いたします。

調査によれば、定年後60歳以降で不安に思っていることでは、男女ともに「健康」と「経済」が高い数値を示していました。中でも、男性は「生活費・年金(56.9%)」が心配で、女性は「もの忘れ(42.9%)」や「容姿の衰え(32.1%)」を気にする思いが強いです。

そして、お金を増やす方法としては、「定年後の再就職(24.5%)」よりも、「資産運用(財テク)(44.1%)」を望んでいることがわかりました。

一方、60歳以降の楽しみを挙げてもらったところ、「国内の温泉旅行」や「インターネットの閲覧」、「美しい自然に触れる国内旅行」といった男女共に数値の高い項目がある一方、多少の男女差も見られました。例えば、共通で関心の高い旅行やエンタテインメント関連の他に、女性は「ガーデニング(35.8%)」や「メールのやりとり(34.6%)」を楽しみにしており、男性は「ドライブ(39.0%)」や「投資(28.9%)」に興味を示していることがわかりました。

また、「仕事・プライベート・社会貢献」の3つで60歳以降の人生設計のバランスを尋ね、平均をとったところ、男性は「仕事(34.8%)」、「社会貢献(16.3%)」、「プライベート(48.9%)」、女性は「仕事(24.6%)」、「社会貢献(17.1%)」、「プライベート(58.4%)」となりました。男性は今後の人生の51.1%を、女性は41.7%を、仕事や社会貢献を通じて活発に社会と関わることに使いたいと望んでいるようです。

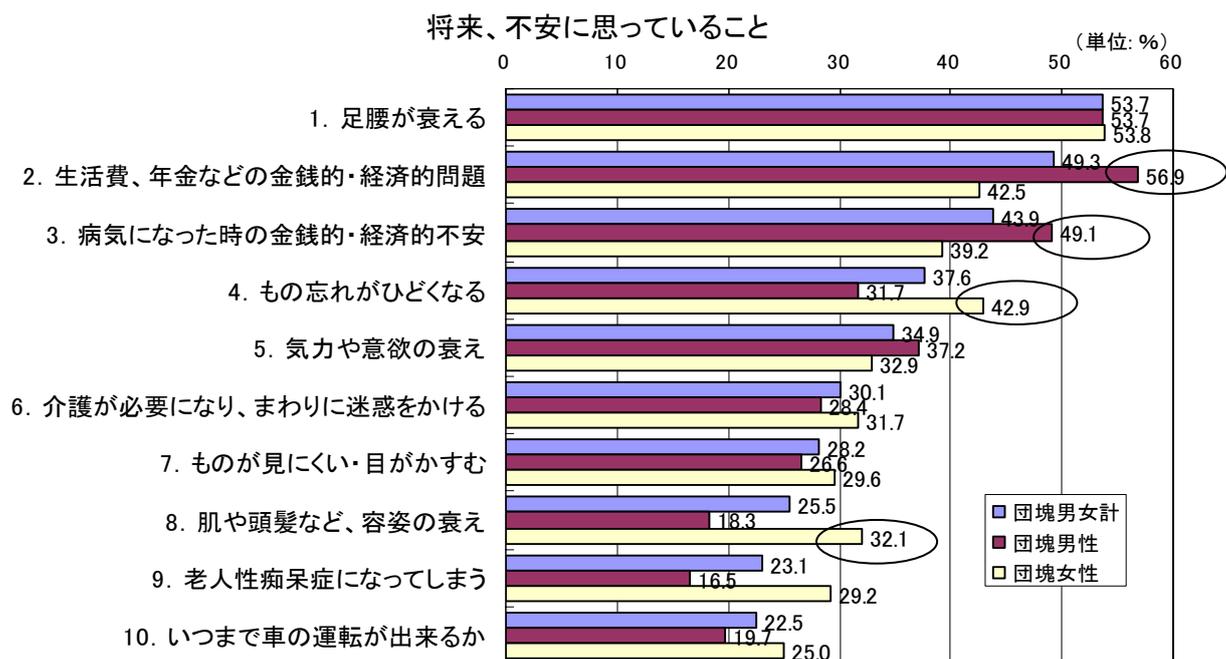
次ページ以降で、詳細の調査データを紹介いたします。

調査概要 調査時期：2006年3月
 調査地域：全国
 調査対象：エルダー世代(50才～64才)2036名(うち、分析対象は団塊男女458名)
 調査方法：インターネット調査

添付資料：調査データ

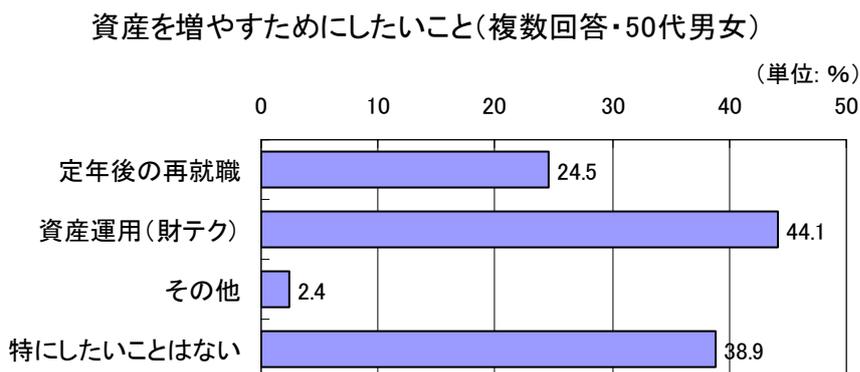
- ◇ 団塊世代の定年後の不安材料は、「健康」と「経済」。男性は「お金」、女性は「もの忘れ」と「容姿の衰え」への心配が顕著。

今後の人生において不安に思うこととしては、男女共に「健康」と「経済」が高い数値を示しました。特に男性が心配をしているのが「生活費、年金などの金銭的・経済的問題（56.9%）」や「病気になった時の金銭的・経済的不安（49.1%）」でした。一方、女性は、「もの忘れがひどくなる（42.9%）」や「肌や頭髮など、容姿の衰え（32.1%）」などが目立ちました。こうした不安が、定年後も働きたいという意欲や、常に社会と接して刺激を受けていたいという気持ちにつながっていると考えられます。



- ◇ お金を増やすためにしたいことは、「定年後の再就職」よりも「資産運用（財テク）」。

50代の男女にお金を増やすための具体的な方法を尋ねたところ、「定年後の再就職（24.5%）」よりも、圧倒的に「資産運用（財テク）（44.1%）」を望んでいるという結果が出ました。団塊世代は、ちょうど子育てや住宅ローンなどが一段落し、サラリーマンはまもなく退職金が入ってくるという世代です。こうしたまとまった資金をいかに生かしていくかという意識が強いため、資産運用を行うことに積極的な姿勢をもっているのかもしれませんが。

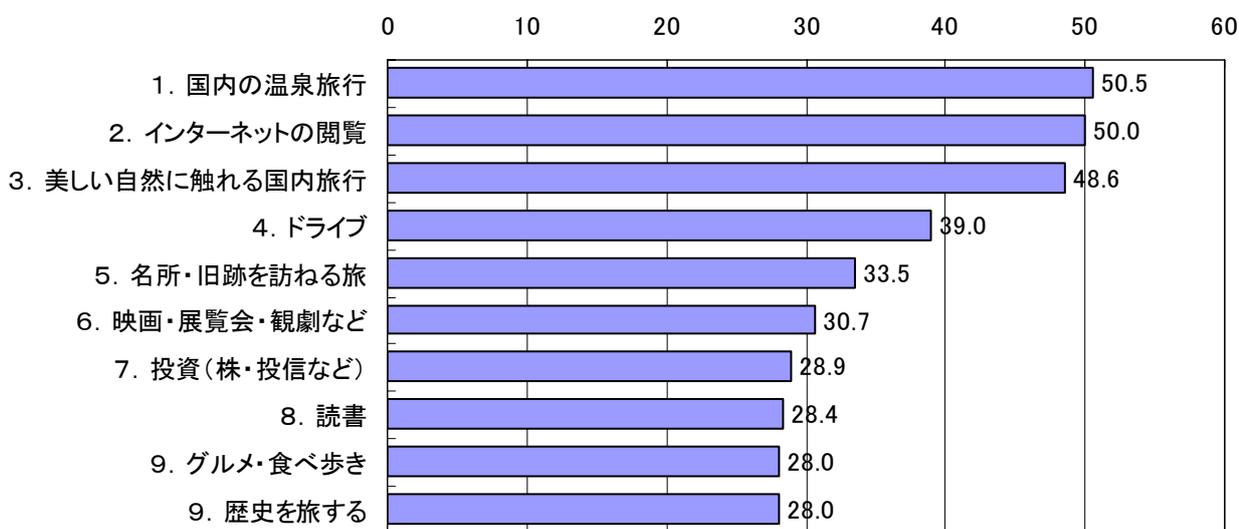


◇ 60代以降の楽しみで、男性特有は「ドライブ」と「投資」。女性は「ガーデニング」と「メールのやりとり」。

60歳以降の楽しみとしては、「国内の温泉旅行」や「インターネットの閲覧」、「美しい自然に触れる国内旅行」などの男女共に高い数値を示した項目がある一方、男女差のある項目もありました。例えば、共通で関心の高い旅行やエンタテインメント関連の他に、女性は「ガーデニング（35.8%）」や「メールのやりとり（34.6%）」の数値が高くなっています。そして男性は「ドライブ（39.0%）」や「投資（28.9%）」に関心を持っていることがわかりました。夫婦揃って旅行や映画に出かけつつも、それぞれの興味や趣味を尊重し、個人としての時間も確保するというスタイルがこれからの理想の夫婦像なのかもしれません。

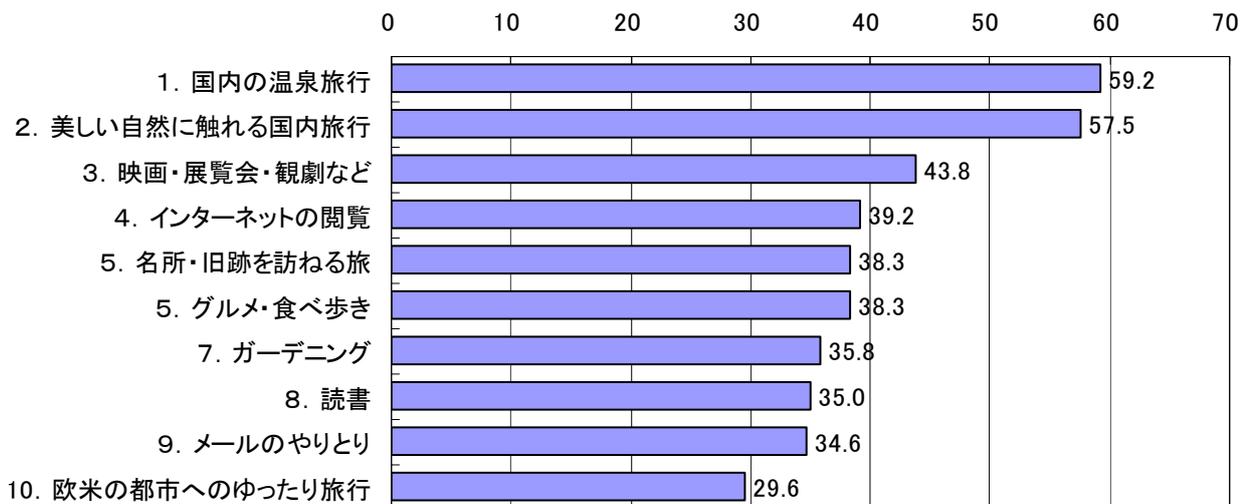
これからの楽しみ(団塊男性)

(単位: %)



これからの楽しみ(団塊女性)

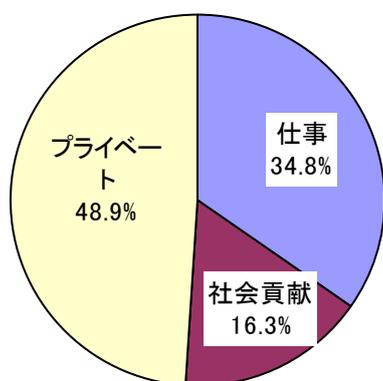
(単位: %)



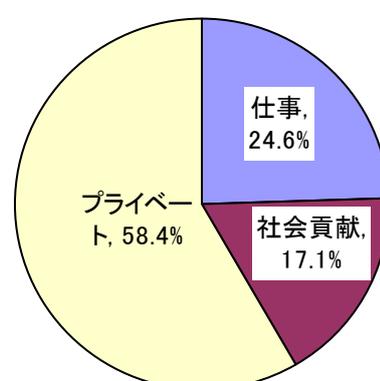
- ◇ 60歳以降にしたい生活は、積極的な「社会参加(仕事・社会貢献)」。男性は、自分の時間の51.1%、女性は41.7%を、「社会参加」に使いたい。

団塊世代に、「仕事・プライベート・社会貢献」で60歳以降の人生設計のバランスを尋ね、その平均をとったところ、男女ともに、「プライベート(男性:48.9% 女性:58.4%)」な時間をしっかり確保しつつも、「仕事(男性:34.8% 女性:24.6%)」や「社会貢献(男性:16.3% 女性:17.1%)」を通じて社会参加したいという気持ちが強いことがわかりました。男性は、自分の時間の51.1%、女性は41.7%を、こうした「社会参加(仕事・社会貢献)」に使いたいと回答しています。今後も、まだまだ現役として社会で活躍していきたいという積極的な意欲が感じられます。

人生のバランス(団塊男性)



人生のバランス(団塊女性)



ご参考

■エルダーの規定（博報堂エルダービジネス推進室による）

50歳以上の高齢者を「エルダー」と規定	
導入期	50～64歳
本格期（高齢者）	65歳以上
前期高齢者	65～74歳
後期高齢者	75歳以上

■これまで発行したHOPEレポート

1. HOPE レポートⅠ ニューエルダーの登場 (2001年5月・既報)
・ニューエルダーの登場 エルダー世代関係づくりのキーワードは「情報縁」
2. HOPE レポートⅡ 情報縁：つながる場 (2001年7月・既報)
・ユニバーサルデザイン
3. HOPE レポートⅢ 情報縁：つながる関係 (2001年8月・既報)
・エルダーの人間関係
4. HOPE レポートⅣ 情報縁：3世代コミュニケーション (2001年9月・既報)
エルダーの「子供」「孫」とのコミュニケーション
5. HOPE レポートⅤ 「エルダー層のお金に対する意識調査」 (2001年11月・既報)
6. HOPE レポートⅥ つながるメディア「ラジオとエルダー」 (2001年11月・既報)
7. HOPE レポートⅦ 「エルダーと旅」 (2002年3月・既報)
8. HOPE レポートⅧ 「50代調査速報」 (2002年7月・既報)
9. HOPE レポートⅨ 「HOPE サーベイ速報：エルダーとパソコン・携帯電話」 (2002年10月・既報)
10. HOPE レポートⅩ 「50代60代1600名のお金に関する意識データ」 (2003年3月・既報)
11. HOPE レポート増刊『『新しい大人文化』創造のヒント『開け ひま』』 (2003年10月・既報)
12. HOPE レポートⅩⅠ 「50代夫婦のパートナー評価」 (2003年12月・既報)
13. HOPE レポートⅩⅡ 「エルダーの食生活調査」 (2004年2月・既報)
14. HOPE レポートⅩⅢ 「エルダーと健康調査」 (2004年4月・既報)
15. HOPE レポートⅩⅣ 「3世代（ジェネレーション）クロス調査」 (2004年7月・既報)
16. HOPE レポートⅩⅤ 「団塊夫婦の定年意識に関する調査」 (2004年9月・既報)
17. HOPE レポートⅩⅥ 「団塊世代のエンタテインメント実態調査」 (2005年4月・既報)
18. HOPE レポートⅩⅦ 「団塊世代のファッション実態調査」 (2005年7月・既報)
19. HOPE レポートⅩⅧ 「エルダーの情報縁とタッチポイント」 (2005年9月・既報)
20. HOPE レポートⅩⅨ 「団塊世代～定年（引退）後のライフスタイル調査」 (2005年10月・既報)
21. HOPE レポートⅩⅩ 「団塊男性～定年後に目指す『男のロマン』実態調査」 (2006年5月・既報)
22. HOPE レポートⅩⅩⅠ 「HOPE サーベイ 団塊世代 人生60年の棚卸し」 (2006年12月・既報)
23. HOPE レポートⅩⅩⅡ 「団塊世代 60歳以降の人生設計」 (今回)

* このニュースリリースは高齢者も読みやすい11ポイント以上の文字を使用しています。
(11ポイントは、これ以上小さくなると読みにくくなる限度です)